

令和 7 年度特別の教育課程の自己評価結果について

中泊町立中里中学校

本校は、中泊町教育委員会が掲げる「中泊町教育イノベーションプロジェクト」の 1 つとして町内各校に先がけてメタバースを活用した英語学習に取り組んでいます。

教育イノベーションプロジェクトとは、20 年後を見据えた新教育として、町が重要視している施策の一つです。今年度初めて教育課程特例校を申請し、3～6 年生は週 1 時間のグローバル科を新設しました。グローバル科とは、メタバースを活用したオンライン英語学習を行う科目のことで、週 2 時間（年間 70 時間）の総合的な学習の時間から週 1 時間（年間 35 時間）を減じてグローバル科の時数としています。

＜本年度の主な取組・成果＞

①ネイティブスピーカーとの少人数レッスン

・一人の講師につき 2 人グループで参加したため、直接発音を聞いてもらえたり、声をかけられたりできたことで、積極的に活動できる子が増えました。

②phonics をレッスンに導入

・文字と音声の関係性を学ぶ音声学習法である phonics を導入することで、発音がよくなったり、活動に自信がついたりする子が出てきました。

③ライブツアーなどでの交流体験

・実際に目の前に広がる外国の光景に驚くと共に、つたない英語であっても相手に伝わる喜びを感じたり、さらに詳しく知りたいと思ったりする子が出てきました。

④外国語科や外国語活動の時間での学習内容との関連性の強化

・メタバース英語で使われている英単語や構文については、子供たちにとって負荷がかかりすぎない程度の内容で進めたことで意欲をなくすることなく学習を継続できました。

⑤パフォーマンステストの実施

・子供たちにとって任意の受験ではありますが、英語での応答の場を設定しました。

⑥公開授業及び保護者アンケートの実施

・学習している様子について実際にみていただきながら、様々な視点からメタバース英語の進め方等について見つめ直すことができました。

＜今後の課題・展望＞

①トラブルへの対応

・今年度のトラブル事例や対処法、担任の役割について整理し、子供たちがより効果的に学べるカリキュラムの工夫が必要だと考えています。

②保護者への情報発信への取組

・具体的に学習のイメージをもてるような情報の多様な発信の工夫を考えたいです。

③コミュニケーションスキルの向上を目指す交流場面の設定

・今年度は、英語に特化した学習活動を行うことにより、子供たちのコミュニケーション能力が大きく向上しました。今後、更なるレベルアップを図るために、情報モラルや国際理解の面で指導が必要であると考えます。

各教科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、学級活動及びグローバル科の授業時数等

[学校名 中泊町立中里中学校]

		学年		1	年	2	年	3	年
		教科等	時数	年 間 時 数		年 間 時 数		年 間 時 数	
領域	各教科	国語		1 4 0		1 4 0		1 0 5	
		社会		1 0 5		1 0 5		1 4 0	
		数学		1 4 0		1 0 5		1 4 0	
		理科		1 0 5		1 4 0		1 4 0	
		音楽		4 5		3 5		3 5	
		美術		4 5		3 5		3 5	
		保健体育		1 0 5		1 0 5		1 0 5	
		技術・家庭		7 0		7 0		3 5	
		外国語		1 4 0		1 4 0		1 4 0	
		特別の教科 道徳			2 5		3 5		3 5
総合的な学習の時間			5 6		5 0		5 2		
学 級 活 動			3 5		3 5		3 5		
グ ロー バ ル 科			3 5		3 5		3 5		
合 計			1 0 4 6		1 0 3 0		1 0 3 2		
実施期間	期 間	4 月 1 日 ～ 3 月 3 1 日				月 日 ～ 月 日			
	始 業 時 刻	8 時 5 分				時 分			
	総 退 下 時 刻	1 5 時 5 0 分				時 分			
備考	・令和7年度から教育課程特例校の指定を受けており、総合的な学習の時間を1年生25時間、2・3年生35時間、特別の教科 道徳から1年生10時間を減じて、グローバル科35時間を実施する。 ・朝読書、朝自習、朝会のいずれかを、朝の会の前に10分間実施する。 ・数学及び英語では、ティーム・ティーチングを行う。 ・夏季休業中、及び、冬季休業中の出校日に授業を行う。 (8月18日、1月7日)								